

北部保健所(宇佐・高田地区)の感染症情報

2025年 第3週 (1月13日～1月19日)



インフルエンザに引き続きご注意ください。(13.4人/定点医療機関あたり)

【インフルエンザの症状】

- ・約1～3日の潜伏期間の後、インフルエンザを発症します。
- ・急激に38℃以上の「高熱」や頭痛、全身倦怠感、関節痛などの「全身症状」が強く現れます。 やや遅れて、咳(せき)やのどの痛み、鼻水などの「呼吸器症状」や腰痛や悪心(吐き気)などの「消化器症状」が現れることもあります。

【インフルエンザの予防】

- ・手洗いやこまめなうがいを中心しましょう。
- ・定期的に窓を開け、部屋の換気を行いましょ。
- ・乾燥しやすい室内では加湿器等を使って適切な湿度(50～60%)を保つように心がけましょ。
- ・十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょ。

【症状のある方は】

- ・マスクを着用する等の「咳エチケット」を中心ましょ。
- ・早めに医療機関を受診し、無理して学校や職場などに行かないようにましょ。



新型コロナウイルス感染症にご注意ください。(6.60人/定点医療機関あたり)

新型コロナウイルス感染症の対策は、通常の感染症対策に完全移行しました。

県民の皆さんへ＜4つのお願い＞

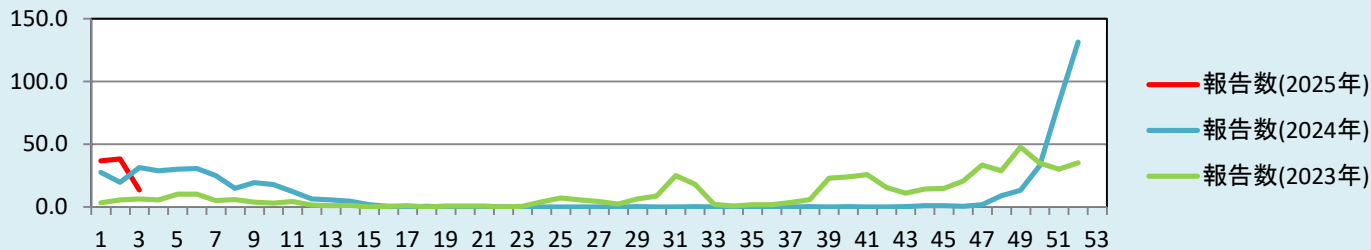
- 1.「基本的な感染対策」で感染予防—室内の換気、手洗いの励行、咳エチケット、場面に応じたマスク着用など
 - 2.「ワクチン接種」で重症化予防—高齢者や基礎疾患のある方は、特に接種をおすすめます
 - 3.「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止—少しでも体調に異変を感じたら、ちゅうちょせず休みましょ
 - 4.検査キット、解熱剤等の常備薬を準備—体調不良時の自宅検査・療養に備え、早めに準備しておきましょ
- 詳しくは大分県のホームページをご覧ください。(https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/)



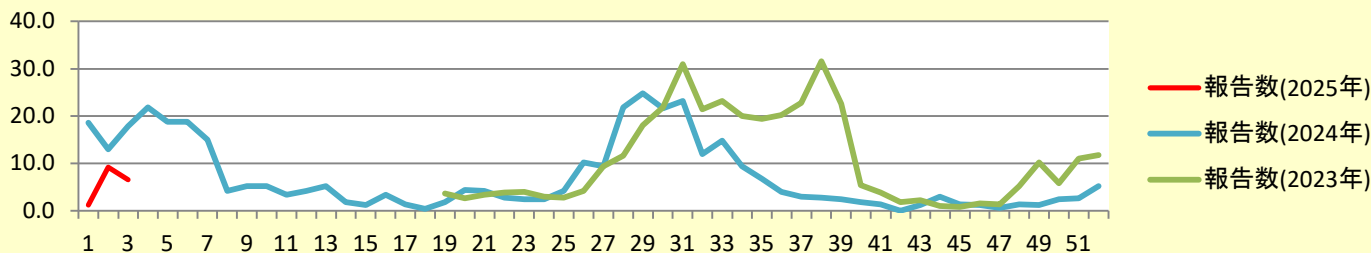
	インフルエンザ			新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(りんご病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎
	A型	B型	不明												
0歳															
1～3歳	3.20		0.40				0.33	3.67				0.33			
4～6歳	1.00		0.40	0.40			0.67	3.67							
7～9歳	1.40		0.40	0.20			1.00	0.67							
10～14歳	1.80			0.80				0.33							
15～19歳	0.20			0.20											
20歳以上	4.60			5.00											
計	12.20		1.20	6.60			2.00	8.33				0.33			
70歳以上(再掲)	0.40			2.00											
前週	34.80		3.40	9.20		1.33	2.33	6.33	0.67	0.33		0.33			0.33
	38.20														

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関数 インフルエンザ/COVID-19定点5、小児科定点3)
 ※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがあります。

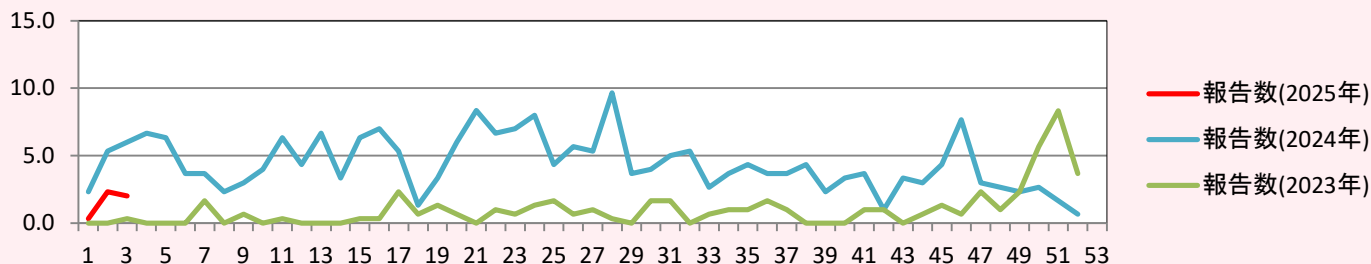
定点当たり報告数 インフルエンザ



定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症



定点当たり報告数 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。
- ・「注意報」: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

お問い合わせ

北部保健所
豊後高田保健部

0979-22-2210
0978-22-3165

a12089@pref.oita.lg.jp